

## 緊急通報装置＜比較表＞

業者	①駆け付け体制	②センサー	③在宅、外出の切替方法	④相談業務	⑤備考・その他オプション
セコム上信越(株)	<p><b>警備員</b></p> <p>①緊急ボタンを押すと、セコムの受信センターに通報が入ります。  <b>②電話機を受話器を持たずに会話が可能です。</b>                  ③直ちに利用者に「どうしましたか？」と安否確認の連絡が入り、同時に<b>警備員(セコム)</b>が駆けつけます。                  ④安否確認ができなかった場合には<b>警備員が家屋内に入り対応します。</b>                  鍵が掛かっていた場合には<b>合鍵</b>を使用します。                  ⑤状況に応じて協力員、消防署等に連絡します。</p> <p>※<b>緊急ボタンを押すと通話料(少額)がかかります。</b>                  ※<b>警備員駆け付けは無料です。</b></p>	<p><b>インフラレッドセンサー</b></p> <p>12時間、センサー付近を人が通過しなかった場合に、セコムの受信センターに自動的に通報が入ります。</p> <p>(センサーは無線式のため、配線の心配がありません。)</p>	<p><b>手動</b></p> <p>簡単な操作(タブレットの抜き差し)が必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セコム介護センターに連絡が入り、専門のヘルパー、看護師が対応。</li> <li><b>24時間相談受付</b></li> <li><b>健康・医療相談</b></li> </ul> <p>※<b>通話時間に応じて通話料がかかります(少額)。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>玄関の鍵を2つセコムに預けます。</b></li> <li>安否確認「お元気ですかコール」(月1回)があります。</li> <li>ペンダント型(防水)の通報ボタンがあります。</li> <li>緊急通報受信センターと相談業務受信センターは別のセンターです。</li> <li>本体に、身の危険を感じた時に助けを呼ぶための非常ボタンがあります。</li> <li>緊急通報装置本体は壁掛けタイプです(壁掛けができない場合は相談ください)</li> </ul>
(株)コヤマ	<p><b>協力員及びセンター職員</b></p> <p>①緊急ボタンを押すと、コヤマの受信センターに通報が入ります。  <b>②電話を受話器を持たず</b>装置が設置されている部屋で<b>お話しすることができます。</b>                  ③利用者に「どうしましたか？」と確認のため呼びかけをいたします。                  ④安否確認ができなかった場合には、直ちに<b>協力員(協力員にて対応が困難な場合はセンター職員が駆付け)</b>に駆付けを要請します。                  ⑤状況に応じて消防署に連絡します。</p> <p>※<b>通話料はかかりません。</b></p>	<p><b>安否センサー</b></p> <p>センサーに最後に反応があった時から12時間、センサー付近を人が通過しなかった場合、センターへ自動的に通報します。</p> <p>センサーの設置数や時間は生活状況にあわせて設定します。</p> <p>(センサーは無線式のため、配線の心配がありません。)</p>	<p><b>自動</b></p> <p>外出センサーの設置で自動的に在宅・外出の判断を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談センターの専門看護師、ヘルパー、相談員が対応。</li> <li>日中は地元の相談員から連絡しますので、身近な事柄の相談ができます。</li> <li><b>24時間相談受付</b></li> <li><b>健康・医療相談</b></li> </ul> <p>※<b>通話料はかかりません。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>センターは地域密着対応で上越市内に設置してありますので、利用者の状況にあった対応が可能です。</b></li> <li><b>玄関の鍵を1つ信頼できる人に預けます。</b>(鍵を預けることができない場合でも相談に応じます。)</li> <li>月に1回「お元気ですかコール」を行います。</li> <li>緊急リモコンには、<b>ペンダントタイプのもの</b>と、押しやすく目立つ<b>大型タイプのもの</b>があります。</li> <li>デジタル回線、光回線など一般電話機が使える環境であれば、各種電話回線に対応することが可能です。</li> </ul>
立山科学(株)	<p><b>協力員及び外部協力員</b></p> <p>①緊急ボタンを押すと立山科学の受信センターに通報が入ります。  <b>②電話機を受話器を持たずに会話が可能です。</b>                  ③直ちに利用者に「どうしましたか？」と安否確認の連絡が入ります。                  ④安否確認ができなかった場合には、直ちに<b>協力員(協力員にて対応が困難な場合は外部協力員が駆付け)</b>に駆付けを要請します。                  ⑤状況に応じて消防署に連絡します。</p> <p>※<b>緊急ボタンは一般回線を使用のため、通話料がかかります。</b>                  ※<b>相談ボタンはフリーダイヤルのため、通話料はかかりません。</b></p>	<p><b>人感センサー</b></p> <p>お住いの状況などに合わせ居間や寝室等に複数センサーを設置し、朝(と夕方)の既定された時間帯に反応が無い場合、自動的にセンターへ通報します。</p> <p>(センサーは無線式のため、配線の心配がありません。)</p>	<p><b>自動</b></p> <p>自動で在宅・外出の判断をし、より正確な通報が可能です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談センターの専門看護師、相談員が対応。</li> <li><b>24時間相談受付</b></li> <li><b>健康・医療相談</b></li> </ul> <p>※<b>通話料はかかりません。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急のボタンは、助けを呼びやすいように<b>押し易い大きなボタン</b>です。</li> <li>安否確認「お元気ですかコール」(月1回)があります。</li> <li><b>浴槽の中でも使えるペンダント型の通報ボタンがあります。</b></li> <li><b>熱感知器</b>があるので、火災時には自動通報が可能です。</li> <li>全ての通報は同じ受信センターのスタッフで対応するため、緊急か相談か迷うことなく的確に判断します。(正看護師が対応)</li> <li>ほぼすべての電話回線に対応します。</li> </ul>

※協力員とは申請書の緊急連絡先(ご家族、ご近所の方等)です。